

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-01900445	女	2歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セフカベンピボキシル テプレノン リン酸ジメモルファン	味覚異常	回復	咽頭炎疑いにて、抗炎症剤・胃薬・抗菌剤処方。翌日インフルエンザ治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与終了後の翌日に味覚障害発現。障害程度は、味覚減退/味覚鈍麻(味覚がよわい)。貧血・舌炎は無し。その約1週間目頃より、味覚障害に対する治療無しで回復。
2	B-01900663	女性	7歳	150 mg	グリベンクラミド ボグリボース アズレンスルホン酸ナトリウム/ L-グルタミン 酒石酸イフェンプロジル 硫酸鉄 アモキシシリン/クラブラン酸カリウム	低血糖昏睡	回復	糖尿病の既往有り。発熱・全身倦怠感有り病院受診し、迅速診断にてA型インフルエンザと診断。翌日、朝より少し食欲無く昼食の量は少なめ。その日17時頃就寝呼びかけに対する返答無し、その後見に行ったところ昏睡のため救急搬送となる。病院到着時、血糖値38mg/dLであり、ブドウ糖静注すると完全に回復となる。担当医によると、低血糖となったのは、今回初めて。
3	B-01900940	女	2歳	150 mg	不明	味覚異常	回復	B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目に味覚障害、嘔気、食欲不振発現し、本剤服用後3~4日間続き、対症療法の治療を行う。本症状発現3日後、味覚障害等の症状回復。
4	B-01902841	男性	不明	不明	ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン	振戦	不明	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビル投与を開始。投与後1~2日後、冷感、ふるえ、高熱のため他院に移送。転帰不明

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
5	B-01902845	男性	5■歳	150 mg	フロロペネムナトリウム 塩酸アンブロキシソール アルジオキサ 耐性乳酸菌	糖尿病性昏睡高浸透圧性昏睡	回復	交通事故によるL1、2脊髄損傷(下肢不全麻痺)、肥満。発熱(37.1℃)、悪感、咽頭痛で、急性喉咽頭炎の診断でフロム投与開始。翌日、口渇、多尿あり。2日後、発熱(39℃)、全身・怠感出現、インフルエンザ疑いにて本剤投与開始。その4日後、本剤投与中止。投与中止1日後、多飲、多尿、全身・怠感持続。午後より悪心、嘔吐発現。投与中止2日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全発現(呼吸困難、意識昏迷状態、コーヒー残渣物嘔吐など)。同日、意識状態悪化、呼吸状態悪化、心電図異常(急性腎不全による)発現。その2日後、心電図正常化。その4日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全回復。DMコントロール、下肢不全麻痺のリハビリの為、転院
6	B-01903997	男	3■歳	150 mg	レボフロキサシン ピロミド酸 ヒベンズ酸チペピジン フロモキシセフナトリウム セラペプターゼ アズレンスルホン酸ナトリウム	感覚鈍麻	軽快	39.4℃発熱あり、インフルエンザと最近の混合感染疑いリン酸オセルタミビル投与開始(確定診断は行っていない)。投与2日目に両手のしびれ、全身に発赤、かゆみが出現。本剤及び併用薬の投与中止。抗ヒスタミン剤投与開始。手足のしびれ等発症3日後両手のしびれ軽快し手根管症候群と確定診断。発疹も消失。
7	B-01907263	女	■歳	50 mg		浮動性めまい	回復	発熱(39.2℃)、近所でインフルエンザの流行があり、家族の強い希望にてリン酸オセルタミビル投与開始(確定診断せず)。この日は発熱のみで食事とれていた。投与2日目、ふらつきとともに口内痛あり、経口摂取低下。投与3日目に下痢発現(本剤投与終了)。翌日も同様の症状が続いたため来院、経口摂取不可、自力でトイレに行けず、入院(39.6℃)。症状発現から6日後失調は軽快。7日後解熱。9日後回復、退院。
8	B-01912004	男	8■歳	150 mg	塩酸ミノサイクリン シメトリド・無水カフェイン フロロペネムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム	幻覚	回復	インフルエンザに対して、本剤他処方され、経口投与開始。5日後とも、熱がおさまってから幻覚(天井に赤い花が見えるなど)、幻視発現。本剤他投与中止。幻覚発現3日後、幻覚、幻視回復。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
9	B-01912005	女	9■歳	150 mg	テオフィリン ランソプラゾール メトクロプラミド ゾピクロン カルボシステイン センノシッド セラペプターゼ レボフロキサシン	幻覚	回復	発熱(39°C)、腰痛発現。(CRP4+)のため、クラビット処方。 翌日、インフルエンザ疑いのため、本剤処方。 処方5日後、幻覚(幻視:木が倒れてくる。幻聴:ハチの発ぶ音)発現。本剤投与中止。 翌日、幻覚軽快。 投与中止3日後、幻覚完全回復
10	B-01912114	男	■歳	75 mg	テオフィリン 塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	幻覚 恐怖	回復	体温39.1°C)、インフルエンザ疑いで本剤服用。 約2時間後、急に目を開き、タオルを取ろうとするもうまく取れないといい泣き叫ぶ。この時心悸亢進2+。 約5分後、症状消失。 症状消失から5時間後、再度本剤投与。 その1時間半後、突然目を開き、意味不明のことを口走り、泣き、叫ぶ様な状況が何度か繰り返される。 約5分後、症状消失。 翌日、解熱
11	B-02900229	男	7■歳	150 mg	エリスロマイシン 葛根湯 ピペラシリンナトリウム	幻覚	回復	詳細不明
12	B-02900597	男	1■歳	150 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	離人症 無表情 無関心	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。投与4日目に無気力、無表情、離人感発現し、本剤投与中止。事象発現後、6日目に回復。
13	B-02900727	女	■歳	100 mg	セフテラムピボキシル	幻覚	回復	インフルエンザ様疾患のためリン酸オセルタミビルを18時頃服用開始。20時45分幻覚様症状発現。睡眠中突然目を開き一点凝視。名前を呼ぶも返答せず、何度かの呼びかけで返答するようになる。5分後幻覚様症状回復、意識清明後の検温では37°Cであった。翌朝7時頃本剤2回目服用、服用2時間後より腹痛、嘔気あり。1時間程度で症状消失。19時に本剤3回目服用後腹痛、気分不良。30分程度で症状消失。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
14	B-02900900	男	■歳	37.5 mg	塩酸ツロブテロール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール テオフィリン ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン	感覚鈍麻 意識レベルの低下	回復	約5ヶ月前より気管支喘息発症し、クロモグリク酸ナトリウム、塩酸プロカテロール、テオフィリンの服用歴あり。リン酸オセルタミビル服用後まもなく、手の震え、ボーッとした感じあり。処方中止し、他剤に変更。本剤服用後、24時間以内に症状消失。なお、患者には卵・牛乳アレルギーあり。
15	B-02901093	女	7■歳	150 mg	塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン 臭素水素酸デキストロメトルファン 塩酸ジフェンヒドラミン 桜皮エキス セネガ セラペプターゼ 塩酸プロモヘキシシ	譫妄 不穏	回復	詳細不明。認知症あり。
16	B-02901232	女	■歳	75 mg	アモキシシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ピフィズス菌製剤	協調運動異常	回復	インフルエンザA型陽性であったが、熱性痙攣を起こしていたためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与2日目、目が回る、フラフラするなどの失調症状発現。投与継続し、3日目朝には、症状みられないが、5回目投与後に失調症状発現。3時間経過後、失調症状軽快し、投与中止。
17	B-02901391	女	1■歳	75 mg	リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル1カプセル(75mg)を服用。投与後1時間後、トイレに行き倒れる。症状としては、ボーツとなり、強直が認められるもすぐに戻る。その間の記憶なし。服用2時間半後、意識清明。
18	B-02901392	女	1■歳	67.5 mg	リン酸ジヒドロコデイン配合剤 ヒベンズ酸チペピジン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル0.9カプセル(67.5mg)を服用。服用2時間後、冷蔵庫の物を取ろうとしたときに、一瞬意識がなくなり倒れた。その時の記憶ははっきりしない。45分後に輸液を投与し、数時間後に一般状態まで回復。
19	B-02901935	男	■歳	75 mg	葛根湯 アモキシシリン 桂麻各半湯 アジスロマイシン リン酸ジヒドロコデイン/dl-塩酸メチルエフェドリン/マレイン酸クロルフェニラミン デキサメタゾン	幻覚	回復	発熱により受診し、インフルエンザと診断されリン酸オセルタミビル75mgを分割投与(1日)。深夜、訳のわからないことを1時間程言い続ける。投与1日後、50mgへ減量し、継続投与したが、幻覚症状なし。投与開始3日後、解熱。投与開始5日後に投与中止。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-02902041	女	1■歳	150 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	回復	腹痛あり、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤を朝服用開始し、当日夜寝る前興奮し、変な夢を見ているようだった。本剤投与中止。翌日朝、意識が清明に戻る。
21	B-02902181	男性	1■歳	150 mg →75	プラノプロフェン テプレノン ドンペリドン	譫妄 幻覚	軽快	臨床症状よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1日目夕刻、異常な発現を観察、翌朝まで何回かのうわ言が観察される。その後投与量を75mg/日に変更して本剤投与を継続するが、有害事象の発現はなし。
22	B-02902182	女	8■歳	150 mg	酸化マグネシウム マレイン酸フルボキサミン クエン酸モサブリド プラバスタチンナトリウム ファモチジン ポラポレジンク アセトアミノフェン	幻覚	軽快	幻覚の発現状況は不明。原疾患：痴呆(高脂血漿、胃潰瘍を合併)で、約3年前(1999年6月)よりアセトアミノフェン以外の併用薬剤を継続使用。
23	B-02902384	男性	1■歳	150 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸アンブロキシール 硫酸サルブタモール d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	認知不能症	回復	詳細不明
24	B-02902740	女性	3■歳	150 mg	ホスホマイシンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム セフポドキシムプロキセチル レバミピド	感覚鈍麻	不明	詳細不明
25	B-02903545	女	1■歳	75 mg	リン酸ジヒドロコデイン アセトアミノフェン	浮動性めまい	回復	詳細不明
26	B-02903705	女性	1■歳	不明		味覚異常	不明	インフルエンザにリン酸オセルタミビル投与。味覚異常発現。 転帰不明。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
27	B-02906808	男	■歳	150 mg	イブプロフェン ドンペリドン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン メキタジン	浮動性めまい	回復	発熱(38.9℃)、大腿部痛を訴え歩行困難。同日、体温39.2℃、嘔吐で本剤投与。 翌日、頭痛、嘔気、倦怠感を訴え元気がないため点滴(ソリタT1 500ml、20%グルコース 40ml)施行。本剤を120mg/日に変更。 同日の夕刻、嘔気とめまいを訴え、ふらつき歩けなくなる。 2日後、本剤は中止となる。 めまい、ふらつきが改善しないため、他院転院。 転院2~3日後、回復退院となる。
28	B-02909730	女性	7■歳	150 mg	プラバスタチンナトリウム クエン酸モサプリド フドステイン セフジニル トラネキサム酸 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン オキサトミド ジフェンヒドラミン フルオシノニド ベタメタゾン/α-マレイン酸クロル フェニラミン 塩酸フェキソフェナジン スクラルファート	反射減弱 末梢性ニューロパシー	不明	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを治療目的に投与。本剤服用終了約1月後に四肢末梢のしびれ(末梢神経障害)発現。その後、全身脱毛、腱反射減弱、神経因性膀胱、食欲不振等発現。原因精査加療目的のため入院し、処置を行い末梢神経障害や食欲も徐々に回復。転帰は不明。
29	B-02911509	女性	3■歳	75 mg		痙攣	不明	インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。帰宅後、本剤75mgを服用したところ、痙攣が発現し、病院に搬送されたがその後の詳細不明。
30	B-02912658	女性	5■歳	150 mg	五虎湯 血圧降下剤	意識レベルの低下	回復	近医にて耐糖能異常と診断されたが投薬なし。低血糖発作既往、TIAの既往なし。インフルエンザ治療のため午前中より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目に食事の後本剤服用10分後に気分不良、冷汗、意識もうろう、全身発汗発現、トイレにて倒れる。動悸著明。約1時間半後、処置せず症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
31	B-02913074	女性	■歳	90 mg		片頭痛	回復	インフルエンザ予防目的(家族がインフルエンザA発症のため)にて、リン酸オセルタミビル投与。本剤投与4回目の服用後、2~3時間後に強い右側頭部痛、嘔吐あり。カロナール坐薬を使用するも痛み軽快せず、イミグラン投与後軽快。片頭痛の既往歴有り。
32	B-02913958	女性	1■歳		バルプロ酸ナトリウム	痙攣	回復	全般性てんかんの治療中(開始日:2002/02/18)。インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を5日間投与。投与終了後5日後に全身性けいれん、意識障害が発現。投薬により症状軽快。2日後には症状安定。
33	B-02913961	女性	3■歳	75 mg	塩酸ベタキソロール オキサミド エバステン ビタミンB1・B6・B12配合剤 リンゴ酸カルシウム マレイン酸フルボキサミン アトルバスタチンカルシウム フマル酸第一鉄 セフジニル ドンペリドン 総合感冒薬 テプレノン 塩酸チラアミド	大発作痙攣	回復	慢性腎不全により透析を継続中であった。てんかん、痙攣の既往歴無し。インフルエンザを疑い、リン酸オセルタミビル75mgを服用。服用約1日後、一過性の足しのしびれに続き、意識消失あり。約5時間後、てんかん大発作あり。1時間後、回復。服用10日後、脳波施行にてslow wave burst(徐波群発)1回あり。約2週間後にも同様の徐波群発を認める。
34	B-02930098	男	1■歳	150 mg	メクロブラミド ラフチジン ロキソプロフェンナトリウム	ジスキネジー	回復	インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。投与開始3日目に解熱し本剤服用終了。投与終了1日後の18時頃、突然頭を後ろに引っ張られるような感じがあり、首を左へ回旋。眼球右共同偏視、喋り難い、目が閉じ難い等の顔面・上肢等の不随意運動発現。意識清明。22時頃急患受診、ジアゼパムにて鎮静、入院。投与終了2日後歩行など正常となり、不随意運動回復。
35	B-02930734	女	■歳	75 mg	塩酸トリメキノール セフジニル 塩酸プロムヘキシン	構語障害 意識レベルの低下 感覚鈍磨	回復	発熱、咳嗽のためセフジニル、塩酸トリメキノール、塩酸プロムヘキシン内服。翌日A型インフルエンザとの診断でリン酸オセルタミビル投与開始、これまでの薬剤は中止となる。本剤服用1時間後より手の震え、意識減損、言語障害発現し受診。経過観察目的にて入院。本剤中止し塩酸アマンタジンに変更となる。翌日、解熱し言語も可能となり、意識レベルもクリアとなった。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
36	B-02931235	男	■歳	75 mg	カルボシステイン セフジニル マレイン酸クロルフェニラミン リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン ロキソプロフェンナトリウム	痙攣	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。本剤75mgを服用。翌朝、75mgを服用し解熱。同日夜、10分程度持続する全身の痙攣が発生し、自然軽快。後遺症なし。自己判断で本剤服用中止。2日後、受診時、咽頭痛のみでその他は無症状。
37	B-02931386	女	7■歳	150 mg	アンピシリンナトリウム ポラプレジク スリンダク テプレノン 塩酸エベリゾン ジアゼパム 臭化ジスチグミン フロセミド ヒトインスリン(遺伝子組換え) プロチゾラム	嗜眠	軽快	細菌性髄膜炎、敗血症発症し入院。血小板減少を認めさらに一過性の意識障害を認めた。その後、A型インフルエンザと診断され、治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。投与3回目内服後、しばらくして傾眠状態に陥る。その後、痰つまり、血圧低下等有り。同日本剤等併用薬のほとんどを中止とし、インフルエンザ回復と判断。その後意識低下等のための処置を行い、意識消失後6日目に経口摂取可能となり、全ての副作用軽快と判断。その後も意識レベル変動あり。
38	B-02931630	女	7■歳	150 mg	塩酸ラニチジン ニセルゴリン プラバスタチンナトリウム カンデサルタンシレキセチル トリクロルメチアジド シルニジピン	痙攣	回復	基礎疾患として、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、高脂血症、高血圧、多発性脳梗塞を持ち、治療中(開始日:2001年頃)。臨床経過より、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与を開始した翌日の昼に痙攣、意識障害が発現。同日、入院し、本剤の投与中止。翌日、軽い眩暈があるが、意識清明。さらに翌日、意識清明、眩暈消失、痙攣回復。
39	B-02932488	男	7■歳	150 mg	アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤 セラペプターゼ	糖尿病性昏睡	未回復	悪寒、発熱(38.5°C)のため本剤投与開始。3日後嘔吐、倦怠のため投与中止。中止2日後、糖尿病性昏睡発現。インスリン処方。2ヶ月後、糖尿病性昏睡軽快
40	B-02933019	男	1■歳	150 mg	アスピリン・VC配合剤 サリチルアミド/アセトアミノフェン/ 無水カフェイン/プロメタジンメチレンジサリチレート 臭化水素酸デキストロメトर्फアン	意識消失	回復	インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始。19時頃2回目服用後臥床。23時頃自力で立位を保てず意識を失った。そのとき失禁。すぐに下の布団に戻し、約5分後に症状回復。翌日インフルエンザ回復。
41	B-02934174	男	4■歳	150 mg	塩酸ツブテロール カルボシステイン トラネキサム酸 ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキソール	視野欠損	未回復	インフルエンザの疑いにてリン酸オセルタミビルを投与(投与日数不明)。投与開始10日後、視野狭窄発現。発現後、1ヶ月以上経過後も未回復。



No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
42	B-03005261	女	2■歳	150 mg	硫酸セフピロム	失神 心室性期外収縮	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3回目の2時間後に意識消失、入院。来院時、意識回復、血圧正常も、体温上昇及び心電図上期外収縮の頻発を認める。投与4回目においても、全身性脱力及びモニター上期外収縮を認める。3日目の服用中止、以後神経症状なし、その他の有害事象も回復。
43	B-03007837	男	■歳	112.5 mg	なし	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル112.5mg/日を投与開始。投与1回目直後に嘔吐、10分後再服用時の30分後に意識不明の言動を認める。有害事象発現30分後に処置なしで回復、入院して継続投与するも、その後は有害事象を発現せず。
44	B-03008278	男	1■歳	75 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン ツロプテロール 塩酸シプロヘプタジン	痙攣 意識レベルの低下	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の3時間後に足重感、4時間後に意識消失及び数分の痙攣。有害事象発現5分後に処置なしで回復、入院して投与中止、その後は有害事象を発現せず。
45	B-03008971	男	1■歳	150 mg	ヒベンズ酸チペピジン	失神	軽快	臨床症状及び経過よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1回目後、腹痛発現、その3時間後に眼前暗黒感出現し転倒、下痢便失禁。転倒後約90分後に救急搬送、意識ほぼ清明も血圧低下及び心部と恥骨上部の軽度圧痛あり。乳酸加リンゲル及び酸素投与により、血圧及び脈拍回復、全身倦怠感軽快。
46	B-03009369	男	1■歳	150 mg	カルボシステイン 塩酸ブロムヘキシン 塩酸プロカテロール セフジトレンピボキシル	統合失調症	軽快	臨床診断からインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夜から内服開始。4日目まで服用し、インフルエンザ様症状は改善。服用終了後5日目頃から、身体がおかしいとの訴えがあり、経過観察のため入院。妄想様言動、全身を随意的に前後に揺さぶるような震え等が認められた。入院3日目に妄想様言動等が認められず退院となったが、翌日精神科に受診したところ統合失調症が考えられ、外来で経過観察となった。2週間後、症状はほとんど消失。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
47	B-03009370	男	■歳	80 mg	クラリスロマイシン 塩酸プロカテロール カルボシステイン 塩酸プロムヘキシシ	記憶障害 書字障害 異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル80mg/日他を処方。開始3日目に、落ち着きがなく会話のつじつまがあわないことに母親が気づく。3日後、通学するも、学校で異常行動が見られ、入院。文字が書けなくなる、父親の名前を忘れる等の症状が出る。7日目に退院。翌日、質問の答えに少し正確性が増す、物の置き場所を思い出す。1ヶ月以上後、母親のはなしでは、文字、計算等は7~8割程度戻ったとのこと。
48	B-03009466	女	1■歳	75 mg		ミオクローヌス	回復	発熱と頭痛から、自宅にあったリン酸オセルタミビル75mgを服用。4時間後、脱水予防のための点滴を受け、その30分後から不随意運動出現。熱が高くなったり緊張したりすると憎悪。インフルエンザA型と診断。事象発現3日目朝に不随意運動消失。
49	B-03009543	男	1■歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	自宅にあったリン酸オセルタミビル150mg/日及びアセトアミノフェンを服用。同日夜、多汗、顔面蒼白になり後方に転倒、意識不明となる。病院では意識清明でインフルエンザA型と診断され帰宅するが、脱力転倒、関連性のない発語を繰り返し、呼びかけへの応答はない。翌朝は、意識清明で、本人は転倒した記憶もあり。入院し頭部CT、腰椎穿刺を行うが異常所見なし。以降、意識障害なし。
50	B-03009903	男	■歳	72 mg		譫妄	回復	リン酸オセルタミビル72mg/日投与後、うわごとが発現。本剤投与終了日にうわごと回復。
51	B-03009909	男	■歳			痙攣	回復	リン酸オセルタミビルを投与後、痙攣が発現。その後回復した。
52	B-03009966	男	6■歳	75 mg	テオフィリン برانلカスト水和物 テプレノン プロピオン酸フルチカゾン	痙攣 意識消失	回復	喘息のため、テオフィリン、برانلカスト水和物、テプレノン(以上開始日:2001/07/14)、プロピオン酸フルチカゾン(開始日:2002/05/28)を投与中。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。同日夜、75mgを服用。その7時間後、意識消失発作あり転倒したが、1分程度で意識が戻る。その2時間半後、眼球上転、全身痙攣出現、便失禁あり。1分程度で痙攣消失し意識清明となる。入院したが、意識清明。本剤内服は中止。7日間入院したが、その間意識消失、痙攣なし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
53	B-03010065	女	7歳		PL リン酸ジメモルファン 塩酸セフカペンピボキシル ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 (1) 塩酸ジルチアゼム パファリン81mg トリアゾラム	妄想 幻覚	回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を服用(併用薬の服用状況は不明)。翌日、解熱したが、夜間より、幻覚、妄想出現。2日後入院、本剤中止。事象発現から6日目に幻覚消失。
54	B-03010648	男	1歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール ノスカピン ベタメタゾン・d-マレイン酸クロル フェニラミン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA、B型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕食後75mgを服用。同日夜、3回続けて倒れ、意識喪失もあり。翌日昼、受診時は意識清明。
55	B-03010786	女	7歳	150 mg	アルファカルシドール ニフェジピン	幻覚 妄想	回復	高血圧、骨粗鬆症で投薬中(開始日:2001/10)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日5日分を処方。2日間服用後の夜中、起床し、異常な発言を行い、そわそわして寝ない。翌日朝、服用後、本剤の投与中止。同日午前中に受診し、会話正常。翌日午前中まで昼夜の区別がなかったが、午後になり通常の状態に戻る。
56	B-03010917	女	3歳	150 mg	メキタジン 塩酸チアラミド リン酸コデイン	視野欠損	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目の夜、内服後に視野が狭くなり、気分不良となった。1~2時間後には回復。
57	B-03010918	女	1歳	132 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸チアラミド	視野欠損	回復	リン酸オセルタミビル132mg/日他を処方。3日間服用し、4日目の起床時、右目の下半分が見えなくなったため、投薬中止。2~3時間後、回復。
58	B-03010985	女	2歳	150 mg	ブロン錠12 カルボシステイン レバミピド アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目深夜、ブロン錠を服用後、耳鳴り、眩暈、ふるえが出現。4時間後、全身性痙攣が発現。眩暈、振戦、心房細動を認める。治療により2時間ほどで回復。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
59	B-03011309	女	3■歳	75 mg	トラネキサム酸 塩酸アンブロキシコール 塩酸クロフェダノール アセトアミノフェン	浮動性めまい 悪心	未回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル75mg/日他を処方。夜から投与開始、翌朝の服薬までで投与中止。嘔気、ふらつきがあり動けない様子。1ヶ月弱がすぎても、浮動性めまい、嘔気は未回復。
60	B-03011619	女	■歳	180 mg		精神障害 表出性言語障害 流涎過多 嚥下障害	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル180mg/日を処方。投与3日目に、えん下障害、精神障害、言語障害、唾液分泌促進が発現し、本剤投与中止。1ヶ月以上過ぎてても、大量の唾液と、少し言語障害がある。
61	B-03012141	女	5■歳	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。夕方75mgを服用。3時間後に上肢が痙攣したが、1時間ほどで改善。
62	B-03012367	女	1■歳			意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル(量、期間不明)を服用後、意識障害が発現し、2日目入院。入院3日目に意識障害は回復。
63	B-03013201	女	8■歳	150 mg	塩酸プロプラノロール ジアゼパム ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 リシノプリル プラバスタチンナトリウム	譫妄	回復	30歳台から年1回程度心身症のため受診していたほか、高血圧、高脂血症のため治療中(開始日:不明)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与開始3日後に、幻視を訴えたほか、洋服を何枚もむやみに重ねて着るなどの異常行動があった。翌日、受診時には落ち着いていた。1週間後、再診時には幻覚などの症状はなくなり、再燃はなかった。
64	B-03900276	男性	■歳	90 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン ピフィズス菌製剤	坐骨神経痛	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル90mg/日を投与開始。投与開始後3日目に両側下腿痛発現。翌日より本剤投与中止。有害事象発現8日目、回復。
65	B-03900392	男	1■歳	150 mg	セフジニル アセトアミノフェン ピペラシリンナトリウム スルピリン 塩酸ミノサイクリン	傾眠	回復	発熱のため受診。臨床的にインフルエンザと診断しリン酸オセルタミビルを5日間服用。服用一日後朝、嘔吐、発熱、歩行困難(フラフラ)、傾眠がち症状あり。投与中止後23日間、副作用継続。